

私たちのゴールとは

私たち小西化学工業株式会社のゴールは、企業を永続させることです。言い換えれば、現在から将来にわたって利益を創出し続ける事であり、社会から認知され続ける事でもあります。

私たちはこのゴールを目指すにあたり、3つの重要なファクターがあると考えています。

- ・手がける事業を見極める
- ・永続性のメカニズムを埋め込む
- ・人材の育成に最大の力点を置く

マネジメントシステムの統合方針

私たちの経営の目的はお客様及び社内外の利害関係者のニーズと期待とを明確にし、満足し、競争上の優位性を確立していくことです。この目的を効果的で効率的に達成するために私たちは組織活動全般にマネジメントシステムの活用と展開を図ります。

保安防災・環境保全・労働安全衛生・化学品安全・品質保証等のレスポンスブル・ケア活動において統合的なマネジメントシステムを活用し、組織活動全般のパフォーマンスの向上に取り組みます。

又、マネジメントシステムや組織、その境界や範囲外に存在するリスクに対しても、社員が常に経営的視点にたち、事業活動全般に組織横断的なリスクマネジメントが働く経営体制の確立を追及します。

1. 中期経営計画を頂点とする経営のP D C AサイクルにそれぞれのマネジメントシステムのP D C Aが密接に連動し、相乗効果的なスパイラルアップを図り、経営全体のパフォーマンスの向上を目指します。
2. 組織活動のP D C A、プロジェクトの推進に際しては、先ず全体計画を明確にする事から始めます。5 W 2 Hを念頭におき、全体工程表・役割責任・課題・進捗状況が常に社内で見える化できるようにします。急激な変化が生じた場合はP D C Aサイクルの途中であっても直ちに計画を修正し、さらに、環境変化に対応できるスピードでP D C Aサイクルを力強く回していきます。
3. マネジメントシステムの有効性と効率を向上させるため継続的な改善に取り組み、必要であれば抜本的な改革や再構築にも躊躇しません。そのためにプロセスアプローチなどの論理的な手法を積極的に導入して活用します。これらの活動を社員が効果的に運営できるように社内教育を体系的に充実させ、組織能力の向上とパフォーマンスの向上を達成します。
4. 不適合はもちろん不具合や問題が生じた場合は、社内ですと集まりサッとディスカッションできる文化を尊重し、直ちに手順に則って対処を開始します。会議体の運営ではその効率と効果を重要とし常に本質を直視したディスカッションを尽くし経営的視点に立った結論を出します。
5. 監査機能の強化に継続的に取り組み、お客様の視点、社内外の利害関係者の視点、そして環境変化の視点に抜けがないよう、つまり総合的なリスクマネジメントの構築を目指します。一方、社員は能動的に社内プロセスを見える化することに努め自らが改善の提案をすることを怠りません。
6. 事業活動のあらゆる場面において適応される法的及びその他の要求事項を順守する為の計画を立てて実施します。又、社内ルールも含めて順守精神の高い社員を育てるための教育を展開します。

平成21年9月7日
小西化学工業株式会社

代表取締役社長 小西弘矩

安全方針

私たちは安全を企業永続の第一条件と捉え、無事故・無災害の操業を維持し、リスクマネジメントの継続的なパフォーマンスの向上により、地域社会と社員の安全を確保します。

1. 研究開発から設備の設計・工事を経て運転・維持・改善・変更・廃棄・流通にいたるまで、各ステージにおいてリスクアセスメントを行い安全確保に漏れが無いようにプロセスを進めます。特に変更に関しては事前に必ずリスクアセスメントを実施し、事業活動やマネジメントシステムに影響が生じ無いかを確認します。
2. プロセスの危険性評価に関しては、取り扱い物質やプロセスの安全に関わる科学的データを十分に収集し、HAZOP等の普遍的・合理的な手法を積極的に導入・活用して活発なブレインストーミングを伴ったリスクマネジメントを行います。
3. 人的ミス、ヒヤリハットを含めたインシデントに対してはタイムリーな調査を行い本質的な是正・予防・改善に繋がります。
4. 効果的で効率的な安全マネジメントプログラムを展開し、事故・災害に係るリスクを回避・低減します。
5. 経営者がマネジメントレビューに限らず、パトロールやコミュニケーションなどを通じてリスク対応状況を直接監視・フォローできる仕組みを構築します。
6. 万が一、危機が顕在化した場合のケースを想定して緊急措置方法を事前に確立し、繰り返し緊急訓練を実施して改善を重ねます。

環境方針

私たちは工場の現在の立地状況を真摯に受け止め、常に地域社会の環境への配慮を忘れません。製品の開発・生産・廃棄にいたるまでのライフサイクルの全てのステージにおいて環境への負荷を配慮し、徹底したリスク管理とマネジメントシステムの活用により汚染・漏洩・流出を防止し、無公害の工場であり続けます。

1. 生産活動全般に係る環境への影響をマテリアル・バランスのデータ等をもとに的確に把握して、プロセス設計・設備設計を始め、事業活動全般に於いて環境保全への活動に活かします。
2. 効果的で効率的な環境マネジメントプログラムを展開し、生産活動において全員参加の省資源・省エネルギー活動を積極的に推進し、使用原単位を継続的に低減するとともに、工場からの廃水や廃棄物の発生量の低減、リサイクル化及び化学物質の排出量の低減を推し進めます。

品質方針

私たちはお客様に提供する品質とそれを保証する品質管理レベルの向上に全社員で取り組みお客様の信頼を勝ち取ります。私たちはお客様からそして自分たちからも“本当に愛される製品”を作ることができる会社を目指し、それを誇りにできる会社になりたいと考えます。

1. お客様からのクレームを撲滅するために能動的に継続的にマネジメントシステムの改善に取り組みます。改善は常にシステムの有効性と効率の向上を明確に行います。
2. 万が一お客様からのクレーム或いは要望などが出された場合、又は社内のシステムに関して欠点が見出された場合、直ちに根本的な原因の追求のため合理的なプロセスアプローチを展開し、その対処は常に本質をついたお客様にとってベストである選択を実施します。
3. 再発防止・予防処置などの改善のためのプロセスではモグラ叩きの様な対処療法に陥ること無く、活発なブレインストーミングを通じて見出された根本的な原因を絶つことにより真の問題解決を図ります。
4. 研究開発段階から品質保証への取り組みを徹底し、スピーディーかつコンカレント・エンジニアリング的な設計開発管理システムを推し進めてお客様へのパフォーマンスの向上を目指します。

平成21年9月7日
小西化学工業株式会社

代表取締役社長 小西弘矩